

## 平成 28 年度三重大学国際交流事業実施報告書（一般公開：日本語版）

オランダ王国のワーヘニンゲン大学は近年、フードバレー事業の成功等で世界的に名を馳せ、生物生産関連の大学では最も活発な活動を行っている大学として知られている。生物資源学研究科では平成 25-27 年度日本学術振興会「頭脳循環を加速する若手研究者戦略的海外派遣プログラム」等において、数年前より研究者および学生の交流を行っているが、交流協定締結に向けて様々な交流活動の実績が求められている。事業の中で、研究者の派遣先の一つとなった本ワーヘニンゲン大学の水産養殖系のグループが平成 28 年 4 月 1 日から 10 日までの間、日本国内で実施する博士課程の短期国外インターンシップ事業への協力を要請された。その要請を受けて、生物資源学研究科国際交流委員会は連携大学院の増養殖研究所や三重県水産研究センター、あるいは民間養殖会社の協力を受けて活動内容を調整し、研究所、養殖現場訪問のほか平成 27 年 4 月 5 日に学内でミニ国際シンポジウムを開催した。またこれに関連し、本国際インターンシップ事業のフォローアップもかねてワーヘニンゲン大学の Verreth 教授が5月中旬より二か月間訪問研究者として生物資源学研究科に滞在することとなり、種々の便宜供与を行った。さらに滞在期間中、英語による専門分野の特別講義や特別講演会を実施した。またこれらの成果を受けて、大学院生物資源学研究科との交流協定締結に向けた最終調整をオランダで行った。

農学、食品、環境関連の大学では現在世界のトップにランキングされているオランダのワーヘニンゲン大学との今後の共同研究や研究者交流につながる大変意義のある取り組みを本経費助成事業で実施することができた。また連携大学院と協働しながら海外の交流校との事業に取り組んでゆく新しい事業展開の形も生まれた。



## 平成 28 年度三重大学国際交流事業実施報告書（一般公開：英語版）

Wageningen University in Netherlands is well known to be one of the most active university in agriculture, food processing and environmental education and research in the world. This time, the Graduate School of Bioresources of Mie University accepted an international internship group comprising of ten PhD candidate students for ten days at the beginning of April, 2017. During the internship period students were offered various interesting excursions to research institutes including National Research Institute of Aquaculture, a member of Cooperative Graduate School Framework of the Graduate School of Bioresources, our research vessel SEISUIMARU, fish farms etc. Also an International Joint Symposium on Aquaculture was held in campus. Thanks to the program this experience was led up to a new faculty level partnership agreement with Mie University and Wageningen University. In near future we are planning to sign MOU with Wageningen University.

